



新型コロナウイルス
感染症への対応と

2つ目の
柱 デジタル技術の活用



自治体DXの推進
【新規・拡充】3,651万円

各種手続きのオンライン化や、公共Free Wi-Fi導入施設の拡大を進めます。また、窓口業務についてICTの活用を含むさまざまな手法による市民サービス向上や業務効率化を図るため、民間提案制度を実施します。



情報発信の充実
【拡充】106万円

古河市のLINE公式アカウントをリニューアルし、新型コロナウイルスワクチン接種予約に加えて、市からの情報発信や市民からの通報受付などの機能を強化します。

3つ目の
柱 子ども子育て支援の強化



ヤングケアラー等への
対策
【新規】300万円

ヤングケアラーや生活に困窮する子どもに対する支援のあり方を検討するため、実態調査を実施するとともに官民協働の地域ネットワークの構築と庁内の支援体制の整備を目指します。

公立保育所の
長寿命化対策
【継続】1,192万円

公共施設等総合管理計画個別計画に基づき公立保育所の長寿命化対策を実施します。今年度は第三保育所の長寿命化に必要な実施設計を行います。



3つの柱



新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス
ワクチン接種体制の確保
【継続】8億855万円

新型コロナウイルス感染症の発症予防や重症化予防のために、希望する市民が接種を受けることができるよう、体制を整備してワクチン接種を着実に進めます。

PCR検査費用の一部助成
【継続】1,506万円

感染に対する不安感を解消するとともに、感染者の早期発見により感染拡大を防止するため、自費診療でPCR検査を受けた場合に検査費用の一部を助成します。



自宅療養者への支援
【継続】100万円

新型コロナウイルスに感染し、自宅療養となった市民とその同居の家族等の濃厚接触者に対して、食料品等の支援を行います。

1つ目の
柱 活力ある地域づくり



重層的支援体制の整備
【新規】610万円

介護や子育てなどのさまざまな生活課題について、市役所を含む関係機関と関連施策の連携により問題解決に当たる支援体制を整備します。



観光組織の体制強化
【新規】1,870万円

観光振興の中核的な役割を担う組織として法人化する古河市観光協会と連携し観光事業の促進を図ります。



03

いきいきとした健康・福祉のまちづくり



健康づくり活動の支援 【拡充】 841万円

後期高齢者の多くが抱える加齢に伴う低栄養や筋力・口腔機能をはじめとする心身機能の低下などを予防するため、医療専門職による健康教室や予防指導を行います。



障害者基本計画の策定 【新規】 594万円

障がいの有無にかかわらず誰もが互いに支え合う共生社会を目指し、障害福祉の指針となる第4期古河市障害者基本計画を策定します。

歯周病検診の実施 【新規】 243万円

生活習慣病の発症・重症化を予防するために歯周病検診を実施します。

04

活気あふれる産業のまちづくり



古河ブランド認証品の磨き上げ 【拡充】 100万円

古河ブランド認証品のロゴや容器等のデザインの作成・改良に伴う委託費、それに伴う商品パッケージ等の作成費用に対して補助を行い、地域の活性化と古河市のイメージ向上を図ります。



新規就農者への支援 【拡充】 2,325万円

新規就農者等の育成支援のため、就農希望者に対する農業技術研修費の助成や新規の青年就農者に対する交付金を交付し、地域農業の担い手を育成します。

農泊施設整備に要する経費の補助 【新規】 1,000万円

農泊を契機とした新たな観光資源を発掘するため、民間団体が農泊施設の整備をするための補助を行います。

令和4年度

古河市の主な取り組み

01

安全で安心なまちづくり



消防団第5分団詰所の移転 【拡充】 700万円

円滑な消防活動や地域防災力の強化のため、敷地面積の狭い第5分団の移転に伴う実施設計を行います。

防犯カメラの増設 【拡充】 2,241万円

防犯カメラの計画的な設置や経年劣化したカメラの更新等により、犯罪の抑止力を高め、安全で安心なまちづくりに取り組みます。



危険ブロック塀等の安全対策への補助 【継続】 250万円

地震の際の倒壊等による被害を未然に防止し、市民の安全を確保するため、通学路等を対象とした危険ブロック塀等の撤去による安全対策に係る補助を行います。

02

脱炭素社会の実現に向けた取り組み



EVバスおよび電気自動車の導入 【拡充】 1,583万円

市内循環バス「ぐるりん号」の一部にEV(電動)バスを導入し、令和5年度からの運行に向けて準備を進めます。また、公用車として電気自動車を新たに購入し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進します。

小中学校体育館等LED化 【継続】 2,513万円

小中学校体育館の照明を計画に沿って順次LED化していきます。今年度は仁連小学校と総和南中学校の体育館を整備します。また、イーエスはなも体育館卓球場についても実施します。

06 公共施設マネジメントの取り組み



総和地域交流センターの整備 【新規】4,583万円

中央公民館の代替施設として、周辺の公民館との機能集約や周辺公共施設との複合化を図りながら、新しい時代の公民館等の役割やあり方も検討しつつ、総和地域交流センターの整備を進めます。

斎場施設の大規模改修 【継続】2億8,485万円

今年度は火葬棟の改築工を進めるとともに、工事中も継続して火葬が行える仮設火葬炉を設置し、利用者の利便性に配慮しながら整備を進めます。

古河庁舎の改修 【継続】1億3,335万円

老朽化した古河庁舎、スペースU棟の外壁改修および防水改修工事を計画的に行います。



07 ゼロ予算による新たな取り組み



文化施設のあり方についての検討【継続】

文化施設のあり方について、引き続き文化施設整備検討委員会内で検討を進め、基本構想の策定に着手することを目指します。併せて個別計画の策定にも取り組みます。

雑誌スポンサー制度の導入【新規】

図書館および公民館等で、配架する雑誌に掛けるカバー等を広告スペースとして活用する「雑誌スポンサー制度」を導入します。新たな財源を確保し、図書館等サービスのさらなる充実を図ります。

05 人を育み歴史と文化が息づくまちづくり



自校式給食室の一部統合 【拡充】2,762万円

古河市自校給食室統合計画に基づき、古河第三小学校と古河第五小学校の自校式給食室を学校給食センターへ統合します。



スポーツ施設の予約システムの導入 【新規】1,000万円

利用者の利便性の向上を図るため、令和5年度からのスポーツ施設オンライン予約システムの導入に向けて整備を進めます。



文化財の保存・継承および博物館施設の充実 【拡充】533万円

市内に残された貴重な有形・無形文化財等を保護するため、修繕や保存工事・記録等を実施します。また、古河駅西口の文化施設が密集するミュージアムゾーンを活性化するため、イベントを複数回開催します。



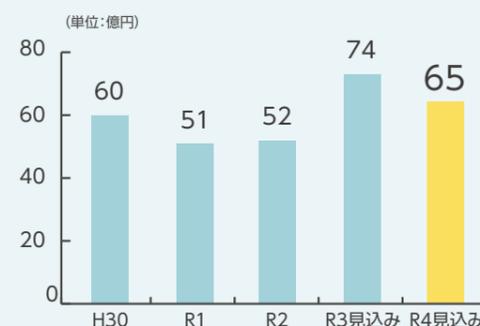
市債残高の推移（一般会計）



市の借金（市債）

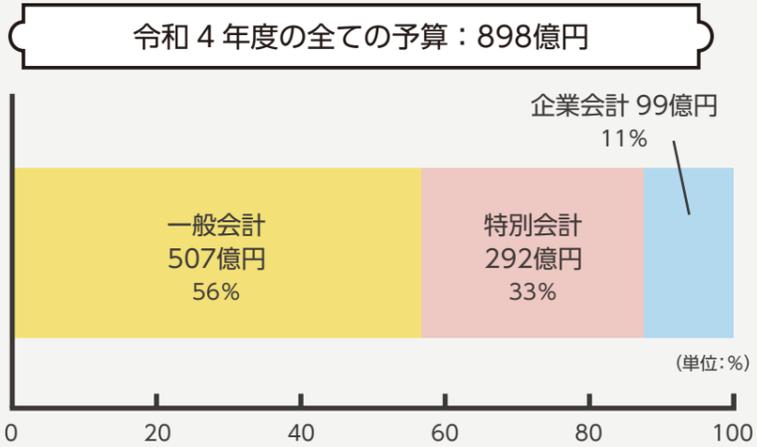
市債の新規発行額を毎年の償還額以下に抑制し、市債残高の削減に努めます。今年度も公共施設整備等の財源として発行し、長期分割払いをすることで、世代間の負担公平の確保と財政の平準化を図ります。

基金残高の推移



市の貯金（基金）

今年度は基金の確保に努め、新型コロナウイルス感染症の影響や大規模災害など、不測の事態に備えます。また、公共施設の修繕や市債を償還する財源として、計画的に基金の繰り入れを行います。



一般会計とは・・・

市の基本的な仕事(福祉、教育など)を行う予算です。主に市税で賄っています

特別会計とは・・・

国民健康保険など、特定の収入がある独立した予算です。収支を明確にし、一般会計と分けています(全10会計)

企業会計とは・・・

自らの収益で運営している上下水道事業のことです

今年度の一般会計当初予算額は507億円。前年度と比較して12億円(2.4%)の増額となりました。予算編成に当たっては、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に「活力ある地域づくり」「デジタル技術の活用」「子ども子育て支援の強化」の3つを重点的な施策とし、市政運営に取り組みます。コロナ禍にあっても行政サービスを安定的に提供できるように、各種施策や事業の精査を行い、限られた財源を有効活用するため、選択と集中を重視した予算編成となっています。

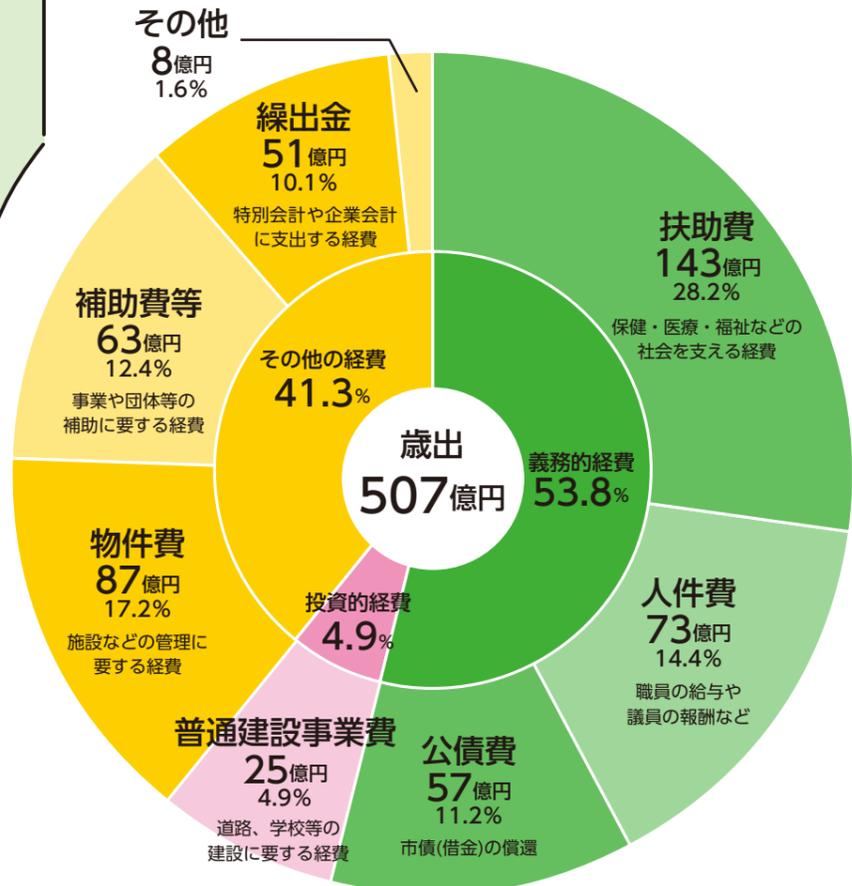
令和4年度
古河市の予算
一般会計 **507** 億円
(前年度比 2.4%増)

歳出は扶助費が増加

扶助費は高齢化の進展や子育てをしている人々への支援拡充により年々増加しています。今年度は、障がい福祉サービス費や生活保護費の増加もあり、合併直後と比較すると82億円増加し過去最大の予算額となります。

■扶助費の増加額
H18決算：61億円
R4当初：143億円 ← +82億円

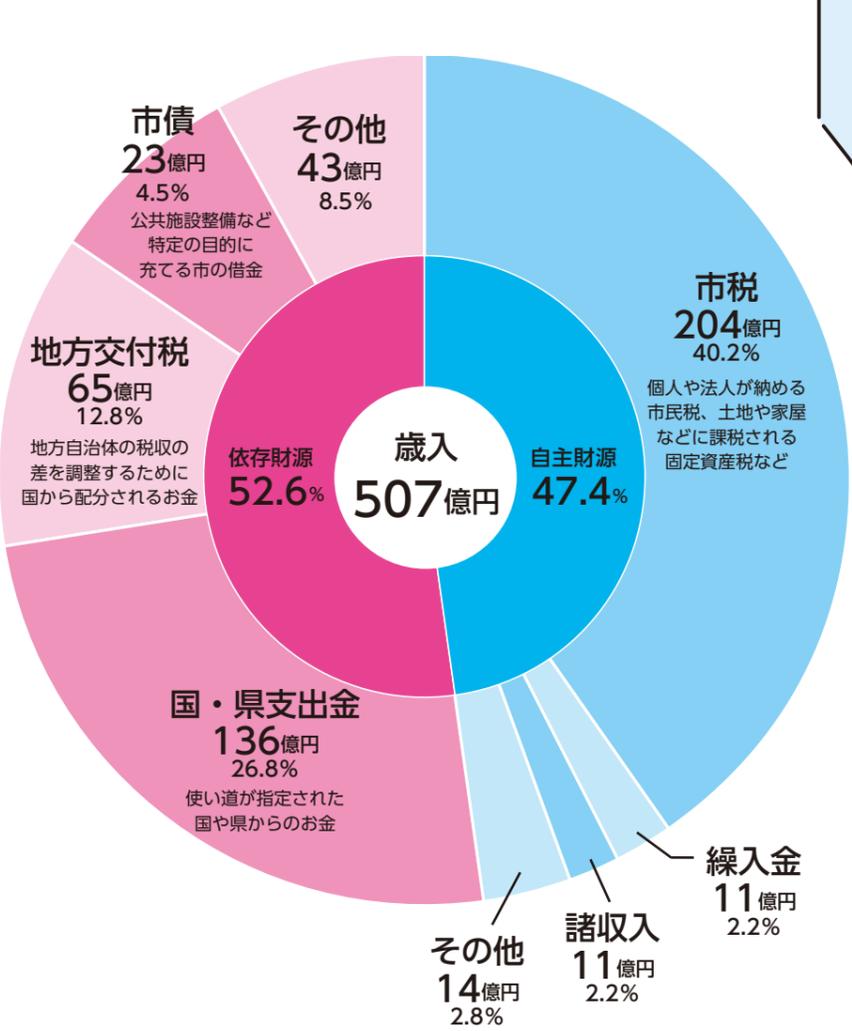
古河市が支払うお金の内訳
一般会計 歳出



義務的経費と投資的経費とは？

扶助費や人件費など、支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費を義務的経費と言い、道路や学校等の建設に要する経費を投資的経費と言います。

古河市に入るお金の内訳
一般会計 歳入



歳入は市税が増加

市税では企業業績の改善や新築家屋の増加により、法人市民税や固定資産税の増加が見込まれることから、前年度に比べ12億円の増加となります。

■市税の増収額
R3当初:192億円
R4当初:204億円 ← +12億円

自主財源と依存財源とは？

市が自ら徴収するお金である自主財源に対し、国から定められた目的のために交付されるお金を依存財源と言います。そのため、自主財源の割合が大きいほど、行政運営がしやすくなります。

※端数処理の関係で数値が一致しない場合があります。